



Annual report 2018

認定NPO法人しずおか環境教育研究会[エコエデュ]

2018年度 事業報告書

2018年度トピックス	… 3p
ビジョン・ミッション	… 4p
トピックス	
1 地域企業が、子どもたちと自然環境を結ぶ	… 6p
2 自然体験から、探究の学びへ	… 8p
3 「語り」のなかから、エコエデュ	
事業の価値を見出す	… 9p
4 森をはぐくむ基本を学ぶ	… 10p
5 幼児教育の場としての森づくりを静岡に広める	… 11p
活動一覧	… 12p
環境教育事業	
自分の学びを自分で創る	… 14p
人と自然の関係を学ぶ	… 19p
環境教育人材育成事業	… 20p
環境教育の場の創出事業	… 22p
関係の創出・再発見事業	… 23p
研究・啓発事業	… 23p
環境保全の循環づくり	… 24p
主な活動フィールド	… 25p
2018年度役員・職員・主担当	… 26p
2018年度エコエデュのすがた	… 28p
【参考】エコエデュ中期計画	… 32p
2018年度財務諸表	… 34p
賛助会員・寄付者・助成一覧	… 35p



第10期【2017～2018年】

認定NPO法人しずおか環境教育研究会 理事長 ごあいさつ

元号が令和となり、社会のさまざまな変化の波をあらためて実感させる機会でした。市民のみなさんも、混沌とした社会のなかで、生き生きとしたエッセンスを、見出し、伸ばし、育ち、懸命に生活しています。私たちエコエデュは、未来の市民の柱となる子ども達に、伸ばし、伸ばし、希望と喜びあふれる社会を創造するためにプログラムを通じ、10年後も30年後も生きる自信と持ち続ける力をつける活動を行っています。今後もエコエデュの「種」が社会の隅々で根を張り、葉を茂らせていく事ができるよう、一層のご支援をお願い申し上げます。

兼高里佳

2018年度 エコエデュトピックス

- TOPICS 1 地域企業が、子どもたちと自然環境を結ぶ
- TOPICS 2 自然体験から、探究の学びへ
- TOPICS 3 「語り」のなかから、エコエデュ事業の価値を見出す
- TOPICS 4 森をはぐくむ基本を学ぶ ～市民の手で、学びの森を～
- TOPICS 5 幼児教育の場としての森づくりを静岡に広める

2018年度 環境教育等事業 実績

	2018年度	2017年度
事業数	34事業 (うち受託事業6事業)	29事業
活動日数 のべ	372日 (うち受託事業49日)	399日
参加者数 のべ	7,968名 (うち受託事業2,143名)	8,154名
ボランティア数	1,429名 (うち受託事業188名)	1,342名

みなさまの篤いご支援のもと、これらの成果が実現しました
心から感謝申し上げます

ビジョン[目指す社会の姿](ゴール)

笑顔で挑戦し続ける社会

ミッション[私たちの使命]

自然の中での教育を通して
失敗・変化の中から 自分の答えを
追求する人を育てる

こころざし[発信者として大切にしたいこと]

エンジョイ

Enjoy - 楽しむ -

自分自身が楽しむ気持ちを忘れずにいよう!

ブレイクスルー

Breakthrough - 突破 -

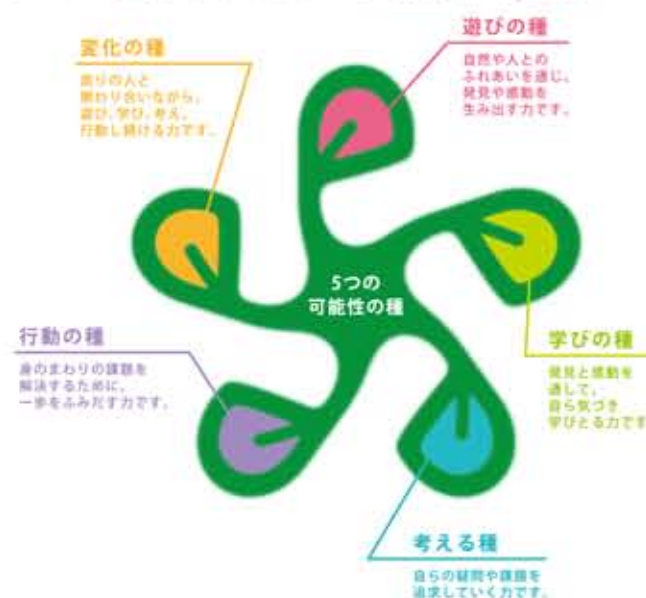
考え、模索し、小さな突破を重ねながら、
新しいものを創りだしていこう!

プライド

Pride - 誇りをもつ -

エコエデュの活動は、私たち1人ひとりの手から
生みだされていることに、自信と誇りを持とう!

プログラムに込められたもの[可能性の種]





静岡トヨペット株式会社 キッズ自然体験プログラム(2018年8月)



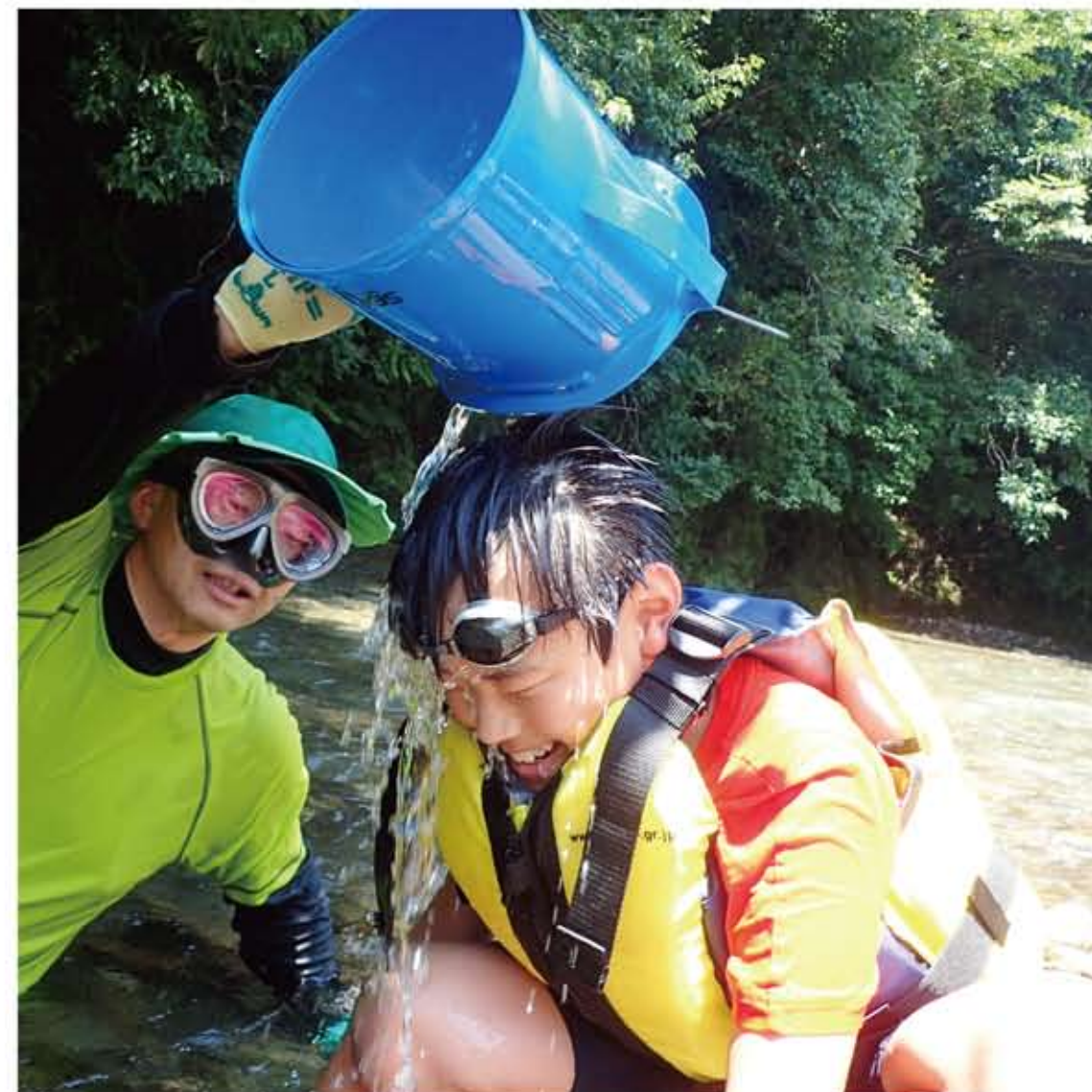
TOPICS 1 地域企業が、子どもたちと自然環境を結ぶ

子どもたちの未来に、豊かな体験を伝えたい。人を育む場としての自然環境を次世代につなげたい。同じ願いを共有する地域企業のみなさんと、たくさんのアクションが生まれはじめました。

静岡トヨペット株式会社は、自然環境保全や環境教育に長年継続して取り組んでおられます。2018年度のエコエデュとの計2回の活動のきっかけは、全社的な「働き方改革」でした。

土日も出勤する小売業。保育園や学童に預けられない日に、「子連れで出勤」することができる会社にしたい。その第一歩として朝本社に子どもと出勤し、昼間子どもは森で楽しむプログラムを、とのご依頼でした。

未来を見据え、挑戦しながら変化する企業とのコラボレーションはエコエデュのビジョン「笑顔で挑戦し続ける社会」を、ともに目指すものとなりました。



清水銀行職員組合 里山体験プログラム(2018年7月)

また清水銀行職員組合とは「組合員と、家族の交流」を目的としたコラボレーションが実現しています。担当の方の「今の子どもたちは竹のことも、生えている様子も知らずにタケノコを食べている。どうしても自分の手で、タケノコを掘ってほしい!」という熱い思いが、すべての原点となりました。

コラボレーションの共同作業のなかで、企業人として、担当者として、を超えた一個人として未来に向かっていく子どもたちに、この体験をつなげていきたいという強い思いと触れ合う瞬間があります。それが、エコエデュが未来に向かっていく原動力になるのです。

【静岡トヨペット株式会社】社員ファミリーデー・キッズ自然体験プログラム
主催：静岡トヨペット株式会社／実施：エコエデュ
開催日：8月10日／11月11日

【清水銀行職員組合】行員・ご家族向け自然体験プログラム
主催：清水銀行職員組合／実施：エコエデュ
開催日：4月14日／7月14日／10月20日



里山QUEST II (2018年4月-2019年3月)

TOPICS 2 自然体験から、探究の学びへ

2018年度も、新しいプログラムへの挑戦が続いています！

幼児期から小学生低学年までたっぷり自然体験を身体にたくわえた、その次のステップとして「街と森を結んだ、子どもたち主体の探究」を実現した「里山QUEST II (クエストツー)」がスタートしました。

2018年度参加の子どもたちは「里山の楽しさを伝える動画を作る」を年間テーマに決定。プロの映像制作会社に、エコエデュスタッフ抜きでいきなり電話する勇敢さを発揮し、アドバイスを頂きながら、素敵な動画を作成。撮影、構成、編集もすべて子どもたちが手がけました。エコエデュは「笑顔で挑戦し続ける社会」の実現に、また一歩を進めています。

【外部協力】 株式会社アンテロープ
担当 大塚 彩乃さん / 川崎 恵麗華さん



子どもたち製作の動画
(youtube・音声付き)



河合将生氏・洪性旭氏とともに、理事・事務局スタッフ合同の「語り合い」

TOPICS 3 「語り」のなかから、エコエデュ事業の価値を見出す

「ドラマは現場で起こっている！」～数字と物語で、社会教育の成果をあらわす試み～

エコエデュは、人と人、人と自然をつなぐ学びとして、環境教育の場を創り続けています。その価値は、届けたい人に届いているのか。どのように届いているのか？2018年度、「調査研究事業」としてそれを測る試みをスタートさせました。

ポイントは、価値の確かな情報源として「語り」を重視したこと。子どもたちやその保護者、スタッフが接した、日々のエピソードとその受け取り方を対話の中でじっくりと研ぎだし、外部専門家と検証しました。



ふじのくに未来財団
せいしん地域のちから基金支援事業

【外部専門家】 静岡県立大学 金川幸司 教授

【外部専門家】 日本評価学会認定評価士 河合 将生 氏 (office musubime代表)

【外部専門家】 社会学者 洪 性旭 氏 (東京外国語大学)



森を知り、森とかわる基礎講座(2018年9月~12月) 航空写真から

TOPICS 4 森をはぐくむ基本を学ぶ ~市民の手で、学びの森を~

エコエデュは2015年から、放置された竹林を伐採し、里山を整備して
いまを生きる子どもや大人の「学びの森」を再生する事業に取り組み続けています。
4年間に多くのボランティアが定期的に関わる活動に成長しました。

数年経って出てきた課題は、「この森をどんな森に、どのように育てていくか」というビジョンです。
それを共に学ぶために、樹木や里山二次林の基本を学び、森づくり計画を立てる基礎講座を開催。
専門家の講義と、実際の森を目の前にしたワークにより、正しい知識をもとに森の未来像を描くことを目指しました。

【外部専門家】 静岡大学教育学部 小南 陽亮 教授

【外部専門家】 株式会社森ラボ 鈴木 礼 氏

【協力】株式会社かんぽ生命保険



静岡県森づくりミーティング(2018年12月21日)

森づくり
ミーティング
12/21 (金)
10:00~16:00
静岡県産業経済会館

森づくりは人づくり。そして地域づくり。森は新しいライフスタイルを生み出し、地域産業を活性。また、幼少期の教育の場としても注目されています。講師による県内外の先進事例や研究から森林活動の可能性が広がる。ヒント満載のイベントです。

どなたでも
お申込み
受付中!

幼児教育の場として
森づくりが全国で
始まっています!!

基調講演:
森と自然を活用した保育・幼児教育
百合草 祐二 氏
国文学研究館 教授

基調講演:
森林空間の新たな総合利用
沖 修司 氏
公益財団法人静岡県グリーンバンク 代表理事

・同時開催・
静岡県づくり大賞 森の名手・名人
しずおか未来の森サポーター企業
発表式

主催 静岡県/公益財団法人静岡県グリーンバンク
運営・申込先 特定非営利活動法人しずおか環境教育研究会【エコエデュ】
お問合せ 静岡県くらし・環境部環境局 環境ふれあい課
電話: 054-221-3864

TOPICS 5 幼児教育の場としての 森づくりを静岡に広める

幼児期の子どもの教育の場として、森の豊かな可能性を
再確認する動きが全国で広がっています。
15年前から幼児親子プログラムをスタートさせている、エコエデュの
地域内や他団体とのネットワークを生かし、
2018年度は静岡県主催「森づくりミーティング」に協力しました。

県内で広がっている、幼児自然体験の場づくりの実践者や
森づくり活動・森林所有者・幼児教育関係者・企業・行政等が
一堂に会し、未来の幼児教育への第一歩を踏み出しました。

主催:静岡県・公益財団法人静岡県グリーンバンク/運営:エコエデュ



フリープログラム

自分の学びを自分で創る

継続開催(毎週)

単発開催



乳幼児親子

幼児
(3歳~年少)

幼児
(年中~年長)

小学校低学年

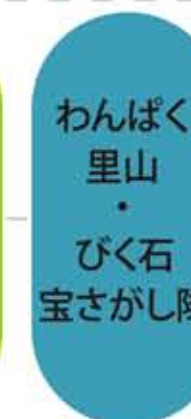
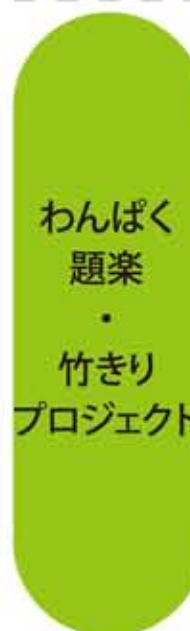
小学校
中~高学年

成人向け
(18歳以上)

テーマプログラム

人と自然の関係を学ぶ

継続開催(毎月/季節ごと)



成人向け 研修

リーダー育成・安全講習



自分の学びを自分で創るフリープログラム Stage.1 遊びの中で自信や好奇心を高めていく

里山のかやねずみ 0～4歳未満児と保護者対象

有度山フィールド(静岡市)／毎週火・木曜(参加自由)／定員なし／申込随時
里山でゆったりと遊ぶことを通して、楽しい!びっくり!ふしぎ!など自分のなかの
様々な感情に気づき、親や仲間とわかちあう喜びを知ります。おとなはその
ありのままの表れの中から、わが子らしさに気づいていきます。

おとなと子どもが里山で育ち合う、かけがえないひとときがここにあります。

主担当:大野知子[ちやい]

里山のかやねずみにちようび

0～3歳児と保護者対象 遊木の森(静岡市)・有度山フィールド(静岡市)
／日曜日(年6回開催)／定員12組／各回申込

子どももおとなものびのび楽しめる、自然あそびビギナーさんのためのプログラ
ム。無限に広がる遊びの中で、わが子のいきいきとした笑顔など、知らなかった
一面を知ることができます。この年齢だからこそ一瞬を大切にします。

主担当:原田恵[もやい]

里山やつほ 年中～年長児対象(預かりプログラム)

有度山フィールド(静岡市)／毎月3回(水曜降園後)／年間定員12名／申込2～3月
保育園や幼稚園降園後に、里山に集い、様々な遊びをする子どものみの活動です。
四季折々の動植物とのふれあいで感じた喜びや驚きを仲間と分かち合います。
遊びを仲間に広げたり、仲間の遊びに加わったり、遊びの相乗効果を体感します。

主担当:大野知子[ちやい]



自分の学びを自分で創るフリープログラム

Stage.2 やりたいことを自分たちの力で叶える

Stage.3 話し合い、計画を立て、共に創り上げる

里山BASE 長期休み編 小学1～6年生対象

有度山フィールド(静岡市)/夏休み・冬休み・春休みの平日/

各日定員18名/申込1～2か月前

朝から夕方まで丸一日遊びこむプログラムです。市内送迎ポイントまで

ジャンボタクシーが送迎します。その日出会った仲間と対話しながら一日の遊びを決め、

そこにあるものを使って創意工夫をしながら遊ぶことで、創造性の土台を育みます。

【協力:千代田タクシー株式会社】

主担当:柴崎千賀子[ちかりん]/下村大和[しまむ]

里山adventure 小学1～6年生対象

有度山フィールド(静岡市)/毎週金曜放課後/年間定員18名/申込3月～

ひとりひとりの意思をもとに、仲間と意見を出し合い、試行錯誤をしながら

新たな遊びにチャレンジしていきます。夢中になって遊び、出来ないことを克服して

いく経験の積み重ねが、豊かな学びの実感を育てます。

主担当:柴崎千賀子[ちかりん]/東山浩子[ゆいまる]

里山QUEST 小学1～3年生対象

有度山フィールド(静岡市)/毎週水曜放課後/年間定員8名/申込3月～

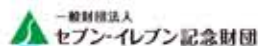
小学校のそばまでタクシーが送迎します。いつもの仲間で意見を出し合い、納得する

までやってみて、調べ、考える。これを繰り返しながら、探究"QUEST"する中で、答えの

求め方を手に入れます。見つけた自分の答えには、「根拠」や「自信」、「誇り」が輝きます。

【一般財団法人セブン・イレブン記念財団 NPO基盤強化助成事業】

主担当:柴崎千賀子[ちかりん]/原田恵[もやい]



里山QUEST II 小学3～6年生対象

有度山フィールド(静岡市)/毎月第4日曜/年間定員8名/申込3月～

アクティブ・ラーニングの視点である「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた

プログラム。プロジェクトテーマに向かって、実現するためにどうすればよいかを考え、

仲間と一緒に力と知恵を出し合い、1年間で追究していきます。

【協力:株式会社アンテロープ】

主担当:柴崎千賀子[ちかりん]

あるものでチャレンジ!キャンプ 小学1～6年生対象

遊木の森フィールド(静岡市)/5月3～5日/定員18名

里山BASE参加者限定のプログラム。水もない、屋根もない、電気もガスもない中で、

仲間と力を合わせ3日間のキャンプを乗り切ることで、里山BASEで身につけた

「あるものを見つけるチカラ」をさらに磨きます。

主担当:柴崎千賀子[ちかりん]





自然と人の関係を学ぶ テーマプログラム

わんぱく題楽 小学1～6年生と保護者対象

有度山フィールド(静岡市)／毎月第3日曜／年間14回／年間定員37名／申込2～3月
自分・食べ物・自然の繋がりを里山の環境の中で感じる、小学生親子向けの農業と食のプログラム。水や土や太陽、自然の力を借りて、「種」から育てた野菜やお米をみんなでおいしくいただくことで、自然への感謝の気持ちが生まれます。

【緑の少年団助成金】【イオン幸せの黄色いレシート助成金】

主担当：毎熊幸代〔サニー〕

里山de遊び隊 小学1～6年生対象

有度山フィールド(静岡市)／毎月第4日曜／年間12回／年間定員40名／申込2～3月
小学生のみの年間プログラム。山や自然遊びの楽しさや気持ちよさがわかり、活動日以外でも、外で工夫して遊ぶ力を育てます。小刀やのこぎり、カマなどの道具の使い方を覚えます。先生は地域のおじいちゃんスタッフです。

【緑の少年団助成金】【イオン幸せの黄色いレシート助成金】

主担当：大石順一〔くまさん〕



わんぱく里山 小学1～6年生対象

藤枝フィールド(藤枝市岡部)／毎月第2日曜／年間12回／年間定員36名／申込2～3月
おだやかな農村地帯の恵みをたっぷり受けとるプログラム。地域の人や自然とのふれあい、お米や野菜作りなどを通して、先人の苦労や知恵に気づいていきます。仲間と苦労や喜びを分かち合いながら、食べ物が口に入るまでの過程を学ぶことで食を大切に思う気持ちが生まれます。

【緑の少年団助成金】【イオン幸せの黄色いレシート助成金】

主担当：小林泰之〔こばちゃん〕

びく石宝さがし隊 小学1～6年生対象

藤枝フィールド(藤枝市瀬戸谷)／年間全5日曜／年間定員20名／申込2～3月
藤枝市瀬戸谷の山と川の大自然を舞台に、小学生が探険を繰り広げるプログラム。夢中で遊んだり仲間たちと励ましあったりしながら、安全に楽しく自然と関わる中で、五感を使って今まで気づかなかった宝物を見つけていきます。

【緑の少年団助成金】

主担当：西林秀晃〔ニッシー〕



環境教育人材育成事業 - 伝え手を育てる -

安全衛生講習会

有度山フィールド(静岡市)／年2回開催

エコエデュでは、環境教育スタッフとして参加する会員には年1回の安全衛生講習会への参加が義務付けられています。この講習会は一般の方も参加可能です。他の環境NPO団体に参加する方など、多数受講していただいています。

【2018年度日本郵便年賀寄附金助成】

主担当: 柴崎千賀子

静岡大学農学部安全講習会【受託事業】

静岡大学(静岡市)／7回開催(1年生30名×6回)(2年生40名×1回)

野外調査や実験など危険を伴う研究活動をこれから行う新入生に安全への意識を、と依頼を受け、野外実習体験をもとにした危険予測の練習をすることで、リスクマネジメントの考え方の基礎を学びました。長年積み重ねてきたエコエデュのリスクマネジメントを外部に生かすことができ、大学とNPOの新しい協働の形を作ることができました。

主担当: 柴崎千賀子



ひろしま環境ミーティング【受託事業】

広島県・EPOちゅうごく／20名／2018年9月15日(全3回講座の第2回)

これからの社会に向けた環境学習のあり方と可能性に触れる、広島県主催の環境学習講座に「子育ての中での環境学習」テーマ講師としてご依頼を受けました。学びの質が変化する時代であること、「教える」のではなく「問いを向ける」場づくりについてワークショップを交えてお伝えしました。

主担当: 山本由加／柴崎千賀子

環境楽校 里山しごと 4歳～小学3年生と保護者対象

遊木の森(静岡市)／年間4回／参加者各回30名程度(スタッフ10名程度)／各回申込

遊木の森での育成研修を経て、環境学習リーダーとして活躍を広げる研修生向けに、受託事業を離れエコエデュ主催事業の中でプログラムを企画・実施することを通し、地域社会で本格的に活躍する環境教育の人材育成を行いました。

主担当: 吉沢宣秀【よっしー】／杉山達也【たち】・柴崎千賀子(指導)



春の遊木の森

環境教育の場の創出事業 - 環境教育の場づくり -

しずおか里山体験学習施設 遊木の森管理運営【受託事業】

遊木の森(静岡市) 委託元: 静岡県

遊木の森は里山での体験学習専用の施設で、森林環境教育に特化した全国でも珍しい自然体験施設です。

行政(静岡県)-受託運営NPO(エコエデュ)-地域(平沢地域)の3者の協働で管理運営をしています。

エコエデュは2006年度から運営を受託しており、環境教育リーダーの育成、主催事業の実施などを行ってきました。

主担当: 柴崎千賀子

[年間施設来園者数] 2018年度 19,776人

[主な業務]

運営業務

団体利用受付、問い合わせ対応、施設の日常管理、情報発信などを行っています。

人材マネジメント

サポーターズクラブのボランティアスタッフと共に森林整備、環境教育プログラム提供を行っています。また現場実践力の向上を目指し、ボランティアスタッフに実際のプログラムの企画運営を指導しています。

環境教育プログラム提供

幼稚園・保育園・こども園・小中学校・こども会など県内の希望団体に、スタッフによる環境学習プログラムの対応を行っています(2018年度は21団体)。体験や自然遊びを取り入れた学習が好評です。



あしたかこみち(2018年6月)

関係の創出・再発見事業

あしたか幼児親子自然あそび自立支援【受託事業】

愛鷹広域公園(沼津市) 委託元: 株式会社日産クリエイティブサービス(指定管理)

将来の公園ファンを育てるための幼児向け自然体験プログラムと、研修の実施を行いました。主担当: 柴崎千賀子

里山BASE+ (ぷらす)

協力: 静岡サレジオ小学校

私立静岡サレジオ小学校の休校日に合わせた、里山BASEの特別版を開催しました。主担当: 柴崎千賀子

研究・啓発事業

「ドラマは現場で起こっている！」
～数字と物語で、社会教育の成果をあらわす試み～

参考P9 主担当: 山本由加

【せいしん地域のちから基金(公益財団法人ふじのくに未来財団)】



主な 活動フィールド

有度山北麓(静岡市)

静岡市駿河区谷田

有度山とは、静岡県のまんなかあたり・静岡市の南側にある、景勝地で有名な日本平を指します。この有度山の北側の山麓一帯に広がる里山で、私たちエコエデュは設立の当初から活動しています。

国道一号線から車でたったの5分の近さにも関わらず、有度山北麓は人の暮らしと森が共にある生きた里山です。春には柔らかな緑が萌え、秋には吉田川沿いに黄金色の稲穂が実ります。

しずおか里山体験学習施設 遊木の森(静岡市)

静岡市駿河区古宿

遊木の森は、静岡県立の森林環境教育施設です。かつて畑とそれを取り巻く里山だった場所が、今は在来タンポポが咲く原っぱと雑木林になっています。幼児期のお子さん連れでも気軽に楽しめるおだやかな森が広がり、エコエデュ事業でも特に幼児事業で活用させていただいています。

子持坂・市民農園うちの畑 周辺(藤枝市岡部町)

藤枝市岡部町子持坂

旧東海道岡部宿から車でほんの数分入ったところに、“市民農園うちの畑”が広がっています。畑の西側には朝比奈川が流れ、東側は歴史のある神社や寺院、文化財を有する小高い山が人の営みを静かに見守っています。田んぼやみかん畑が野菜畑を囲み、多くの人々が自分たちの命の源を丹精こめて育てています。

瀬戸谷・びく石ふれあい広場 周辺(藤枝市)

藤枝市瀬戸ノ谷

藤枝市街地から車で北へ30分ほど。びく石のある石谷山一帯は藤枝市民の森として、ハイキングコースが整備されています。私たちの活動の拠点となっている『びく石ふれあい広場』は、登山口のひとつ。山あり!沢あり!川あり!の自然豊かなびく石は、一步一步足を踏み入れるたびに、これまでとは違った空気、違った世界が広がります。

環境教育の場の創出事業 - 地域の環境を保全する循環づくり -

竹きりプロジェクト

有度山フィールド(静岡市)／毎月第2火曜・年2回集中整備・年4回お楽しみ企画:活動合計38日
ボランティア参加人数のべ440名・ボランティア参加団体3団体／整備したエリア1.7ha

子どもたちの環境教育に欠かせない里山。エコエデュの事業の主なフィールドである

有度山北麓の県有林は、県と協定を結んだ市民活動団体により長年整備されてきました。

しかし現在、当事者意識を持って里山整備を行う人が減りボランティアの高齢化が進んでいます。

そこで竹林整備とそのノウハウの伝承をしながら、市民中心の長期的な里山整備の方法を模索しています。

また、里山での環境教育の意義を理解し、自発的に竹林整備を行う新たなボランティアを

増やそうとしています。放棄竹林の整備を通して、地域課題に積極的に関わる人々を増やしたいと考えています。

主担当:鈴木玲子【びあのん】

プロジェクト協力:榎本文雄さん・大石順一さん・大橋英利さん・大原里美さん・大町克之さん・小嶋博さん・昆野貴子さん・実森公枝さん・実森良枝さん・杉山達也さん・丹澤樹生さん・丹澤晋二さん・藤浪健二郎さん・藤浪千枝さん・山田克人さん・山梨佳世乃さん・吉川俊康さん・渡辺幸雄さん・有度山北麓協定団体・ほか多数

【協力:株式会社かんぼ生命保険】【協賛:静岡県緑化推進協会(「緑の募金」事業)】





主な 活動フィールド

有度山北麓(静岡市)

静岡市駿河区谷田

有度山とは、静岡県のまんなかあたり・静岡市の南側にある、景勝地で有名な日本平を指します。この有度山の北側の山麓一帯に広がる里山で、私たちエコエデュは設立の当初から活動しています。

国道一号線から車でたったの5分の近さにも関わらず、有度山北麓は人の暮らしと森が共にある生きた里山です。春には柔らかな緑が萌え、秋には吉田川沿いに黄金色の稲穂が実ります。

しずおか里山体験学習施設 遊木の森(静岡市)

静岡市駿河区古宿

遊木の森は、静岡県立の森林環境教育施設です。かつて畑とそれを取り巻く里山だった場所が、今は在来タンポポが咲く原っぱと雑木林になっています。幼児期のお子さん連れでも気軽に楽しめるおだやかな森が広がり、エコエデュ事業でも特に幼児事業で活用させていただいています。

子持坂・市民農園うちの畑 周辺(藤枝市岡部町)

藤枝市岡部町子持坂

旧東海道岡部宿から車でほんの数分入ったところに、“市民農園うちの畑”が広がっています。畑の西側には朝比奈川が流れ、東側は歴史のある神社や寺院、文化財を有する小高い山が人の営みを静かに見守っています。田んぼやみかん畑が野菜畑を囲み、多くの人々が自分たちの命の源を丹精こめて育てています。

瀬戸谷・びく石ふれあい広場 周辺(藤枝市)

藤枝市瀬戸ノ谷

藤枝市街地から車で北へ30分ほど。びく石のある石谷山一帯は藤枝市民の森として、ハイキングコースが整備されています。私たちの活動の拠点となっている『びく石ふれあい広場』は、登山口のひとつ。山あり!沢あり!川あり!の自然豊かなびく石は、一步一步足を踏み入れるたびに、これまでとは違った空気、違った世界が広がります。

環境教育の場の創出事業 - 地域の環境を保全する循環づくり -

竹きりプロジェクト

有度山フィールド(静岡市)／毎月第2火曜・年2回集中整備・年4回お楽しみ企画:活動合計38日
ボランティア参加人数のべ440名・ボランティア参加団体3団体／整備したエリア1.7ha

子どもたちの環境教育に欠かせない里山。エコエデュの事業の主なフィールドである

有度山北麓の県有林は、県と協定を結んだ市民活動団体により長年整備されてきました。

しかし現在、当事者意識を持って里山整備を行う人が減りボランティアの高齢化が進んでいます。

そこで竹林整備とそのノウハウの伝承をしながら、市民中心の長期的な里山整備の方法を模索しています。

また、里山での環境教育の意義を理解し、自発的に竹林整備を行う新たなボランティアを

増やそうとしています。放棄竹林の整備を通して、地域課題に積極的に関わる人々を増やしたいと考えています。

主担当:鈴木玲子【びあのん】

プロジェクト協力:櫻本文雄さん・大石順一さん・大橋英利さん・大原里美さん・大町克之さん・小嶋博さん・昆野貴子さん・実森公枝さん・実森良枝さん・杉山達也さん・丹澤樹生さん・丹澤晋二さん・藤浪健二郎さん・藤浪千枝さん・山田克人さん・山梨佳世乃さん・吉川俊康さん・渡辺幸雄さん・有度山北麓協定団体・ほか多数

【協力:株式会社かんぼ生命保険】【協賛:静岡県緑化推進協会(「緑の募金」事業)】



2018年度 役員・職員・事業主担当

第10期【2017-2018】理事会

理事会はビジョンミッションに基づいて中期計画を策定し、その進捗を管理する経営チームです。さらに組織課題の変化に応じ認定NPO法人の社会的責任を果たすため、知見や人脈を持つ社会の人材が参画する外部理事の制度もあります。



理事長
兼高 里佳

副理事長 山本 由加
理事 山下 和昭
理事 山本 洋平
理事 山崎 訓志
理事 鈴木 玲子

監事
渡邊 満昭
杉山 達也

事務局スタッフ

事務局は、エコエデュの組織基盤を支え、自然の中の教育の場という新しい価値を社会へ発信し続けるコアメンバーです。認定NPO法人格を取得し、エコエデュは今まで以上に社会へ成果を出し続ける組織として大きな責任を負っています。



事務局長
山本 由加



運営・総務主任
出納・経理業務主担当
鈴木 玲子



事業主任
新規事業主担当
遊木の森主担当
柴崎 千賀子



事業担当
主催事業窓口
下村 大和



事業担当
原田 恵



事業担当
石川 友紀



事業担当
藤浪 千枝



事業担当
東山 浩子



事業担当
大野 知子

会員事業スタッフ

市民有志の活動から始まったエコエデュ。市民自ら問題意識を持ち環境教育を発信する、今もその精神を大切にしています。会員事業は会員がプログラムの企画・実施・収支管理を行い、それぞれ自立・自律した運営をしています。

会員事業主担当



里山のかやねずみ主担当
大野 知子



わんぱく読書主担当
毎熊 幸代



里山de遊び隊主担当
大石 順一



わんぱく里山主担当
小林 泰之



びく石宝さがし隊
主担当
西林 秀晃



里山しごと
主担当
吉沢 宣秀

会員

2018年度 プログラム対応スタッフのべ人数1,429名(うち受託事業対応のべ188名)

会員スタッフのみで運営している会員事業はもちろん、職員主催の事業にも多くの会員がスタッフとして関わっています。
<参考>2018年度会員数:研究会員23名 運営会員8名 サポート会員51名 ボランティア会員99名 / 計181名

中学生スタッフ

井村 心施さん/庄子 鼓太郎さん/立川 雄登さん/松阪 叡美さん/山形 翔吾さん

プログラム検討会

プログラム検討会は、主催事業の目的・目標・内容を検討し事業実施決定を担う理事会信任組織です。事業主担当者が考えた次年度の企画案を検討会が第三者の目線で検討し、それを受けて企画が練り直されることでプログラムの質を高めています。

2018年度プログラム検討会メンバー

柴崎千賀子[幹事]/小林泰之/東山浩子/古川京子/吉沢宣秀

～ 理事会・事務局スタッフ活躍ギャラリー ～



～ 会員スタッフ活躍ギャラリー ～



団体名称 認定特定非営利活動法人しずおか環境教育研究会
通称 エコエデュ
理事長 兼高 里佳
団体分類 認定NPO法人
団体設立 1989年(前身の任意団体設立年) 設立後 満28年
法人格取得 2000年5月24日
認定取得 2016年11月1日
所在地 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田1170-2
連絡先 電話番号/054-263-2866 FAX/054-263-2867
 Mail/e-info@ecoedu.or.jp
WEB www.ecoedu.or.jp
Facebook www.facebook.com/npoeoedu/



事務所から静岡市街地方面を見る風景



WEB



Facebook

受賞

- 2012** 平成24年度住友生命主催「未来を強くする子育てプロジェクト」
 子育て支援活動の表彰部門「未来賞」
2013 平成25年度子ども若者育成・子育て支援功労者表彰<子ども・若者育成支援部門>
 内閣総理大臣表彰
2013 第6回静岡県景観賞受賞地区優秀賞(美しいしずおか景観推進協議会賞)
 公共施設部門在来種タンポポの里山景観「遊木の森」

沿革

- 1989** 前身団体・山の暮らし体験の場『ずしや立』設立
1997 学校への環境学習出前授業開始
1998 任意団体『しずおか環境教育研究会』設立
2000 特定非営利活動(NPO)法人化
2001 静岡県『環境道場師範養成講座』受託
2002 主催『わんぱく題案』(小学生)開始
2003 主催『森のちびっこクラブ』(幼児親子)開始
2004 静岡県『静岡県立森林公園・バードピア浜北』自然体験プログラム実施業務受託(～2015)
2005 主催『大人の山遊び』(大人)・『里山de遊び隊』(小学生)・
 『わんぱく里山』(小学生)開始
2006 主催『ワク★ドキ☆ぐりい〜んず』(親子)開始
 静岡県『しずおか里山体験学習施設・遊木の森』運営業務受託
2009 主催『びく石宝さがし隊』(小学生)開始
 主催『里山のかやねずみ』(幼児親子対象)開始
 静岡県『榛原ふるさとの森』自然体験プログラム実施業務受託(～2011)
2010 主催・環境教育指導者養成『リアル☆スタッフ研修会』実施
 Panasonic NPOサポートファンド助成決定(組織基盤強化)(～2011)
2011 静岡県『環境学習プログラム研究事業』受託
2012 主催『里山そとアソビ塾』(小学生)開始(～2015)
 主催『親子自然あそびひろば 里山ecoプラン』(幼～小親子)開始(～2014)
 主催『親子自然あそびひろば 里山だっこ日和』(乳児親子)開始(～2014)
2013 内閣総理大臣表彰 受賞
 主催『親子自然あそびひろば 野外保育里山いっぽ』(年少児、満3歳児)開始(～2014)
 主催『親子自然あそびひろば 里山やっほ』(年中～年長児)開始
2014 仮認定NPO法人 認定
2015 主催『里山BASE in summer』(小学生)開始・主催『竹きりプロジェクト』開始
2016 主催『里山BASE after school』(小学生)開始
 セブンイレブン記念財団環境市民助成(NPO基盤強化)助成決定(～2018)
認定NPO法人格 取得
2017 主催『里山QUEST』『里山adventure』(小学生)開始
2018 主催『里山QUEST II』(小学生)開始

～ 成長した子どもたちが関わり始めています。中学生スタッフ活躍ギャラリー ～



		2018年度	2017年度	2016年度
会 員 数	研究会員[正会員]	23 名	23 名	30 名
	運営会員[正会員]	8 名	8 名	6 名
	サポート会員	51 名	58 名	48 名
	ボランティア会員	99 名	88 名	83 名
	賛助会員[個人・口数]	47 口	43 口	84 口
	賛助会員[団体・口数]	3 口	2 口	2 口
寄付者数	認定要件人数	122 名	106 名	101 名
	寄付件数	136 件	112 件	128 件
職 員 数	正職員数	3 名	3 名	4 名
	準職員数	6 名	5 名	2 名
役 員 数	理事	6 名	6 名	5 名
	監事	2 名	2 名	3 名
	うち役員報酬の支出	0 名	(理事会報酬規定による)	

[参考] 理事について

理事会は、中期計画を策定しその進捗を管理することで、経営の責任を負います。理事は立候補もしくは推薦により、正会員の選挙を経て就任します。2 年を 1 期とし、継続の際も信任選挙を通過します。理事長は 2 期 4 年以上継続して就任せず、外部人材も含め経営力のある多様な人材の循環的な参画を促進しています。

[参考] 会員制度

エコエデュ会員は、NPO 法人の正会員として総会議決権をもつ「経営の監視役」であるとともに「行動する会員」の側面があり、会員自身が環境教育プログラムスタッフとして活動しています。関わり方はライフスタイルや価値観に合わせて選ぶことができます。

研究会員[正会員]	総会での議決権を持ち、経営の最終決定を担うとともに、選挙で理事を選ぶことができ、また立候補できます。さらに自分自身で環境教育プログラムを企画・運営・サポートすることができます。※一部報酬あり
運営会員[正会員]	総会での議決権を持ち、経営の最終決定を担うとともに、選挙で理事を選ぶことができ、また立候補できます。
サポート会員	自分自身で環境教育プログラムを企画・運営・サポートすることができます。※一部報酬あり
ボランティア会員	環境教育プログラムのサポートをすることができます。※活動のご寄付という位置づけで報酬なし

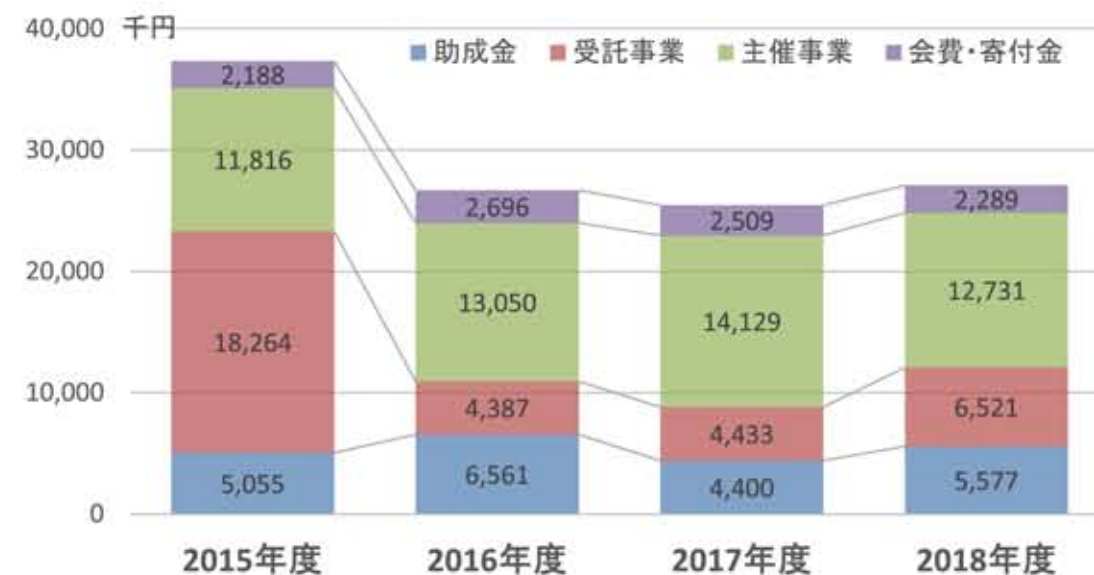
2018年度メディア掲載

- 2018年 5月18日 読売新聞朝刊 主催プログラム「里山のかやねずみ」掲載
 8月 7日 静岡新聞朝刊 株式会社かんぽ生命保険寄付金贈呈式
 12月 4日 SBSテレビ 「イブアイしずおか〜朝倉さやのひとり観光協会〜」
 主催プログラム「里山やつほ」取材
 2019年 2月 4日 静岡新聞朝刊 主催プログラム「里山しごと」掲載

				(千円)	
		2018年度		2017年度	2016年度
経常収入	総計	27,161	100.0%	25,474	26,697
支援性資金	一般会費	308	1.1%	307	266
	賛助・寄付	1,981	7.3%	2,202	2,430
事業性収入	主催収入	12,731	46.9%	14,129	13,050
	委託収入	6,521	24.0%	4,433	4,387
	助成・補助金	5,577	20.5%	4,400	6,561
経常支出	総計	26,824	100.0%	26,619	25,976
	事業費	16,344	60.9%	14,901	16,000
	管理費	10,479	39.1%	11,718	9,976
次期繰越金		337		▲1,144	5,544
借入金		0		0	0
2018年度 助成		一般財団法人セブン-イレブン記念財団／ふじのくに未来財団助成金／森林・山村多面的機能発揮対策交付金／日本郵便年賀寄附金助成／両立支援等助成金／地域緑化の推進事業助成金／緑の少年団助成金／イオン幸せの黄色いレシート助成金			

[参考] 組織経営上の挑戦・財源転換

エコエデュは、環境問題がクローズアップされ始めた2000年度の法人格取得から、行政とタッグを組み、自然体験施設などで環境教育を実施する事業を受託することで組織基盤を固めてきました。さらに2011年度からは、会の理念をダイレクトに伝える、主催事業の発展に取り組み、事業力のある組織へ成長しています。また、認定NPO法人格の取得を目指し、会の活動に賛同し支援して下さるファンのみなさまへの発信を強めています。変化の大きい社会の中で、いくつかの財源を持つことで私たちの考える教育を途切れることなく社会へ発信できる、持続的な強い基盤を持つ組織を目指しています。



過去4年間の財源の推移

中期計画							
目標 Goal	方針 Objectives	事業 Activities	(定款の 事業項目 との関連)	結果 output	成果 outcome	影響 impact	
自分の学びを自分で創り、 すべての失敗・変化を 新しい価値や喜びに 変えることができる人を 育てる	人と自然の関係の中で 「自分の学びを自分で創る」 教育の機会を増やす	社会へのサインとなる コア主催事業の確立	環境教育 活動	■ 安定した組織基盤の目安である 管理費1,000万円を確保するための 主催事業収入1,182万円→3,500万円 ■ 職員6名確保	■ 静岡市の12歳以下人口73,900人※ のうち10%がエコエデュを通じて 「自分の学びを自分で創る」活動に 触れている ※ 平成27年12月31日現在静岡市調べ	■ 市民自ら、主体的に地域の教育 コミュニティを生み出していく のが静岡のあたりまえになる。 ■ 学校教育・家庭教育・他の社会 教育が連携し、オール地域の 教育コミュニティが生まれる。	
		地域の学びを地域でつくる、 環境教育プログラムの提供と 持続的な運営	環境教育 活動	■ 3事業で新担当誕生 ■ 継続的に関わる環境教育スタッフ数 30名増加 ■ (主催・受託含め) エコエデュプログラム参加者数 年間延べ11,775人→20,000人 年間ユニーク数5,692人→10,000人			
		「自分の学びを自分で創る」価値を 社会に発信する	研究啓発 運営	■ 団体サイトの刷新・閲覧数150%UP 日ごとビジター400→600人 ■ メディア掲載数 年10件 ■ 受賞数1件以上(全国) ■ 見学・調査依頼数40件	■ 「自分の学びを自分で創る」教育 活動が、全国規模で認知される		
		「自分の学びを自分で創る」人づくり の現状や可能性を調査研究する	研究啓発	■ 報告書(白書)の社会発信	■ 自然体験教育・環境教育の現状が 社会で共有され課題意識が高まる ■ 環境教育を含めた社会教育の 横の連携が生まれる		
	人と自然の関係の中で 変化を恐れず新しい価値を生む 挑戦者を増やす	固定概念を覆す 教育プログラム開発	人材育成 関係の創出 研究啓発	■ 3件の新規プログラム開発 (組織内外を問わない)	■ 「自然」と「教育」をテーマに 学校・行政・企業・NPO等が それぞれの枠組みに囚われず、 同じ未来を共有し、違う立場で 取り組む事業が生まれる	■ 人と自然の関係を紡ぐ、新しく 鮮烈な教育トライアルが 常に提案される社会になる ■ トライに一步ふみだそう、と 思う挑戦者が増える	
		街と人をつなぐ新拠点開発	関係の創出 場の創出	■ 現事務所以外に1拠点開発			
	「自分の学び」の創造の場・ 里山を核に、 人や資源の循環を生み出す	「自分の学び」の創造の場・ 里山を核に、 人や資源の循環を生み出す	「学ぶ喜び」を生み出し伝える 人材育成の確立	人材育成	■ 環境教育事業の企画立案者 (団体内外) 輩出数10人 ■ 職員・理事含めた人材育成スキーム の確立	■ 日常生活のかたわら環境教育を 発信していくライフスタイルが 認知され、メディアに 取り上げられる	■ 社会教育を軸とした人や資源の 循環モデルが全国に波及する ■ 自然を舞台とした社会教育 プログラムが、地域社会を かたちづくっていくために 必須のものとして認知される
			環境教育活動を核とした、 地域の環境を保全する循環づくり	場の創出	■ 里山管理事業へのボランティア 参加者数のべ200→1,000人 ■ 里山管理事業への 参加団体数合計5→20団体 ■ 管理された里山エリア1→2ha	■ 支援性の財源率が向上することで 里山管理や学校プログラムに 資金循環できる社会モデルが 静岡に確立する	
			社会に支持され持続していく 教育の場づくり	運営	■ 賛助・寄付者数139→300名 ■ 賛助寄付総額190→400万円		

◆ エコエデュ理事長は、2期4年が任期上限です。中期計画は新理事長が就任した年に、翌年から4年間の経営計画として策定作業を行います。理事長は策定責任者となります。

(任期満了を待たずに理事長が交代した場合、計画の修正や策定のし直しは新理事長以下理事会判断に委ねます)

◆ エコエデュ理事会は、中期計画の策定・進捗確認・検証と修正を主な業務とします。必要と判断したときは計画年度の途中でも修正を行います。

◆ この中期計画のフレームは、コミュニティ・ユース・バンクmomoのTheory of Change 2020を参考にさせていただきました。

【参考】2018年度財務諸表

活動計算書

(千円)			
I 経常収益			
1 受取会費	308	308	
2 受取寄付金	1,981	1,981	
3 受取助成金等	受取民間助成金	5,577	5,577
	環境教育活動事業	12,242	
4 事業収入	環境教育人材育成事業	191	
	環境教育の場の創出事業	3,465	
	関係の創出・再発見事業	2,892	
	環境教育研究・啓発事業	1	
	その他	461	
5 その他収益	43	19,295	
経常収益計		27,161	
II 経常費用			
1 事業費	(1) 人件費	12,361	
	(2) その他経費	3,984	16,345
2 管理費	(1) 人件費	6,319	
	(2) その他経費	4,160	10,479
経常費用計		26,824	
当期正味財産増減額		337	
前期繰越正味財産額		4,470	
次期繰越正味財産額		4,807	

貸借対照表 (平成31年3月31日現在)

(千円)			
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		未払金	2,287
現金	140	預り金	202
預金	6,665	前受金	656
前払金	199	未払法人税等	370
未収金	1,298		
繰越商品	20		
流動資産合計	8,322		
2 固定資産	0		
資産合計	8,322	負債合計	3,515
正味財産			4,807

財務全般責任者：山本由加(事務局長) 会計担当：鈴木玲子
顧問税理士：木村美都子税理士事務所 木村昌宏氏

エコエデュを支える人々(ご賛助・ご寄付・助成)



あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

CHIYODA TAXI



アザレア介護サービス

[ご賛助・寄付団体]

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社／株式会社アクア／アザレア介護サービス／
株式会社ウェブサクセス／株式会社かんぽ生命保険／kifubar静岡／静岡信用金庫城北支店／
千代田タクシー株式会社／ふじみ歯ならびクリニック／株式会社TRW

[ご賛助・寄付個人]

浅井 一郎／浅野 一恵／安倍 弘和／新井 光彦／池谷 龍生／石井 祐子／石川 友紀／伊藤 隆介／岩瀬 満
／植田 麻子／大石 順一／大坪 千秋／大野 知子／大橋 利英／大畑 実／大町 克之／小粥 康正／
岡本 恭子／長田 洋子／男谷 翠／小野田 亮／加藤 和恵／亀山 友幸／河崎 佑理／河嶋 庸乃／
河邊 和歌子／木内 満／木田 友貴奈／木下 聡／京井 麻由／櫛引 まり子／久保田 美香子／栗田 宏昭／
桑原 美和／古賀 淑恵／小嶋 博／小林 友希／昆野 貴子／坂ノ上 政綱／佐々木 幸雄／佐藤 めぐみ／
佐野 幸子／実森 公枝／実森 文枝／柴崎 千賀子／島倉 陽子／杉山 達也／杉山 朝哉／鈴木 貴久美／
鈴木 公三郎／鈴木 はつ代／鈴木 ふみ／鈴木 康子／鈴木 玲子／墨 真琴／大長 明子／高島 好春／
高橋 知也／瀧井 美紀／瀧澤 聡美／瀧浪 厚／田口 公一／田中 弓夫／津田 智世子／外岡 都／
伴野 裕子／外山 あけみ／富山 雅広／中川 昌昭／中島 恵里子／中野 はるみ／成澤 久乃／成島 章文／
南條 陽介／西ヶ谷 景子／西澤 満美／西田 真央／西村 公男／西村 正資／濱田 晴子／東山 浩子／
藤田 恵子／藤本 佐代子／古川 京子／本多 恵美子／本多 幸子／本多 道子／松村 史基／間宮 一裕／
三浦 紀子／水谷 洋一／水野 史博／三橋 矢穂里／望月 厚志／望月 孝之／望月 美有紀／門奈 哲也／
八木 俊一／八木 淑子／藪崎 央而／山形 由美／山田 克人／山田 真友子／山本 紗佑里／山本 由加／
吉沢 宣秀／渡辺 裕之／渡辺 昌教／渡邊 友基／S. M.

(敬称略・順不同)

Annual report 2018 2018年度事業報告書

2019年7月発行

発行者 認定NPO法人しずおか環境教育研究会【エコエデュ】

本報告書はNPOの社会への説明責任の一端として公開されたものですが、内容を引用する場合には必ず出展を明記いただき、
上記事務局までお知らせください。